

ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第5期(決算日:2016年10月25日)

作成対象期間(2015年10月27日～2016年10月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」は、2016年10月25日に第5期の決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」への投資を通じて、アジア フロンティア諸国へ実質的に投資することで、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第5期末(2016年10月25日)

基準価額	10,700円
純資産総額	1,506百万円
第5期	
騰落率	△19.2%
分配金(税込み)合計	300円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間:営業日の9:00～17:00

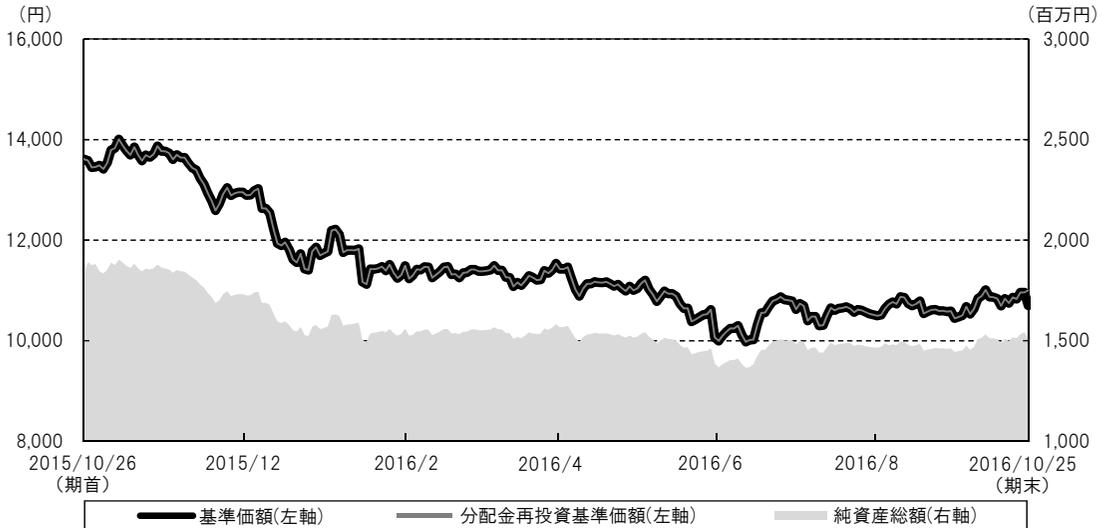
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2015年10月27日～2016年10月25日)



期 首：13,611 円
 期 末：10,700 円 (既払分配金(税込み):300 円)
 騰 落 率：△19.2% (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
 (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年10月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の上昇、為替の円安進行など

下落要因

バングラデシュ、モンゴル、スリランカ、ベトナム、中国等のアジア・フロンティア株式やフロンティア関連株式等の下落、中国の景気減速懸念による世界的な株価急落、為替の円高進行など

1 万口当たりの費用明細

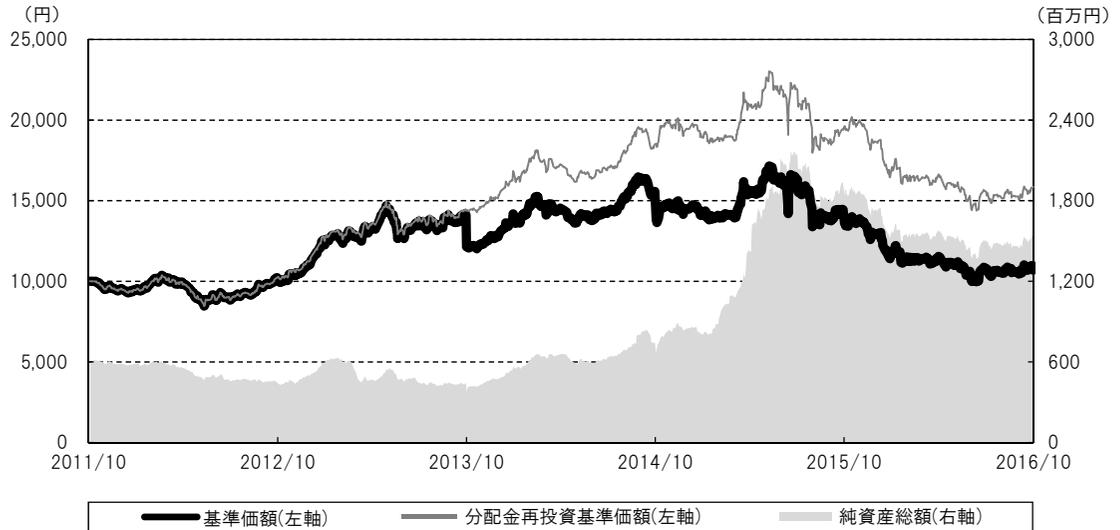
(2015年10月27日～2016年10月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 168	% 1.443	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	(75)	(0.646)	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(88)	(0.754)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(5)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	14	0.123	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(4)	(0.031)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印 刷）	(11)	(0.093)	開示資料等の作成・印刷費用等
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	182	1.566	
期中の平均基準価額は11,633円です。			

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。
当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」
に表示しております。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年10月25日～2016年10月25日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2011年10月28日から2016年10月25日）のみの記載となっております。

	2011年10月28日 設定日	2012年10月25日 決算日	2013年10月25日 決算日	2014年10月27日 決算日	2015年10月26日 決算日	2016年10月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,041	12,141	13,801	13,611	10,700
期間分配金合計(税込み) (円)	—	200	2,000	1,800	1,000	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.4	40.8	28.5	5.9	△19.2
純資産総額 (百万円)	587	440	380	662	1,834	1,506

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2012年10月25日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2015年10月27日～2016年10月25日)

※以下の内容は、「ハーベスト アジア フロンティア エクイティ ファンド クラスJ受益証券」(以下、ハーベストAFエクイティファンドと言います。)のファンド・マネジャー(ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド)のコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

2015年11月から2016年9月までのアジア・フロンティア市場の投資環境(株式市場・外国為替市場)

年初の世界の株式市場は、投資家が引き続き中国の景気減速を懸念し、不安定な相場付きで始まりました。中国 A 株市場や香港株式市場は直近数年間で最も低い収益率を記録し、中国・香港市場の急落は2016年1月の世界同時株安の引き金となりました。1月の1カ月間でMSCIファー・イースト・インデックス(除く日本)は約8%、S&P500種株価指数は約5%下落しました。底値圏からの反発は、6月に起きた予想外の英国の欧州連合(EU)離脱決定により、水を差されました。

EU 離脱決定により、株式市場は世界的な急落に見舞われました。これまでEU 離脱国はなかったことから、前例のない先行き不透明感をもたらしました。幸い

にも、投資家が落ち着き、離脱決定の悪材料を消化するにつれて、魅力的なバリュエーションに加えて、政治的に安定したアジア株の買い増しを様々なエコノミストやストラテジスト達が呼び掛け始めました。

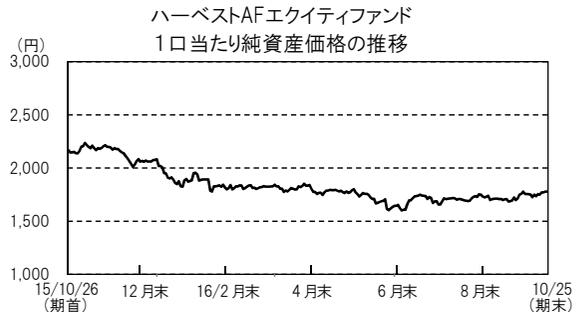
また、米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げに慎重な姿勢を採り続けたことから、米国の利上げペースが予想よりも速くなるとの懸念は徐々に消失しました。米利上げの遅れに伴い、新興国通貨や商品市況は上昇し始め、新興国株式市場にもプラスに作用しました。

さらに、中国が市場予想を上回る良好な経済指標を発表したことから、アジア株式市場は資本流入が進み、反発しました。2016年9月を強含みで終えた中国株式市場は、四半期ベースでは2009年以来の上昇率を記録し、年初来の他市場への後れを取り戻しました。とは言え、直近2~3カ月間における新興国株式市場の持ち直しは、米大統領選を控えて投資家が様子見姿勢を採ったためです。トランプ氏の予想外の勝利は、世界の地政学的環境に大きな不確実性を生み出したことから、短期的には市場の変動率は高止まりしそうです。

アジア・フロンティア株式市場は、過去の急落に比べて下値抵抗力を見せましたが、中国発の世界同時株安によりフロンティア諸国の通貨も悪影響を受けたことから、年初の急落を免れることは出来ませんでした。それでもなお、アジア・フロンティア市場は2016年4~6月期に堅調なパフォーマンスを見せ、英国のEU 離脱決定の影響を回避し、変動率の高まったグローバル市場で引き続き下値抵抗力を発揮しました。

底打ちした商品市況の動向も、カザフスタンなど商品市況への依存度の高い国々の相場上昇を促しました。当期間中のカザフスタン市場は、自国通貨安にもかかわらず、原油相場の反発により、ドルベースで+14.7%の上昇を記録しました。ベトナム市場も、外国人持ち株比率の上限引き上げにより、投資家心理に大幅な改善が見られ、ベトナム市場で時価総額最大のベトナム乳業(ビナミルク)が上場来高値を更新しました。

2016年7月にテロリストの襲撃に見舞われたバングラデシュ市場は、その後反発し、下落分の一部を取り戻し



- (注1) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。
 (注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。
 (注3) 純資産価格は、翌営業日の「ハーベスト アジア フロンティア 株式ファンド」の基準価額に反映されます。

ました。一方、スリランカ市場とモンゴル市場では大きな反発は見られませんでした。スリランカ市場は、新政権の税制や予算案に関する態度が目まぐるしく変化したことから、年初から急落に見舞われ、2016年1-3月期に12%以上下落しました。その後は若干反発したものの、前年末比でプラス圏には浮上していません。また、アジア・フロンティア5カ国の市場の中で最も大きく下落したのはモンゴル市場で、2016年7-9月期に通貨ツグリグが対ドルで13%下落する中、株式市場もドルベースで19%下落しました。モンゴルは、商品市況が回復したにもかかわらず、引き続き財政赤字に苦しんでいます。国債の格下げや国際通貨基金(IMF)による救済が通貨急落の引き金となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年10月27日～2016年10月25日)

当ファンドは、2011年10月28日に運用をスタートし、当期は第5期となります。当ファンドは設定日以降、外国投資信託(円建て)「ハーベストAFエクイティファンド」を高位に組入れています。当期の基準価額(分配金込み)は△19.2%の下落となりました。

以下の内容は、ハーベストAFエクイティファンドのポートフォリオについてです。

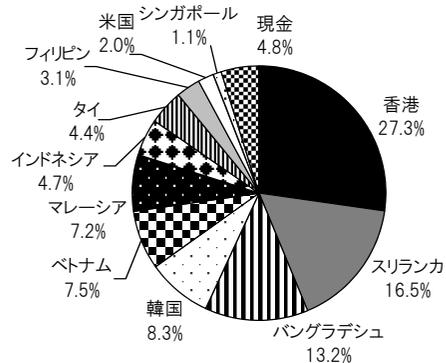
※ハーベストAFエクイティファンドのファンド・マネジャー(ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド)のコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

当期間中の参考指数に対するハーベスト AF エクイティ ファンド(クラスJ)の相対収益は△12.95%となりました。アジア・フロンティア5カ国の中で堅調な収益率を上げたベトナム、カザフスタンの組入比率をそれぞれ参考指数比で低下またはゼロとしたことが要因であり、主に国・地域別の資産配分がファンド収益を低下させる結果となりました。

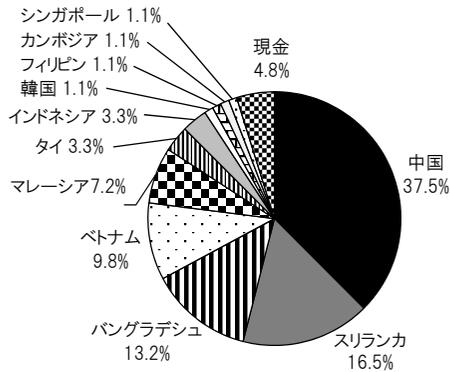
なお、当期間中は、ベトナム銘柄や参考指数に含まれないタイ銘柄がファンド収益に最もプラスに寄りました。当期間中に最も高い収益率上げた銘柄は、タイ空港公社やピナミルクで、それぞれ36%、47%上昇しました。タイ空港公社は、タイへの外国人観光客数が急速に伸びたことにより、株価上昇が加速しました。ベトナムの代表的な株価指数の構成銘柄であるピナミルクは、ベトナム政府による外国人持ち株比率の上限引き上げを受けて、株価が再評価されました。

一方、当期間中にファンド収益を低下させたのは、参考指数に含まれない中国西部フロンティア地域関連銘柄です。我々の中核銘柄の1つであるメディア関連企業の世紀睿科控股(センチュリー・セージ・サイエンティフィック・ホールディングス)は、当期間中にドルベースで51%の急落に見舞われました。主な下落要因としては、特に同社に関連するニュースはなかったことから、2016年1-3月期に投資家のリスク回避姿勢が強まり、中国・香港市場の多くの小型株で評価が大幅に引き下げられたことによるものと見られます。

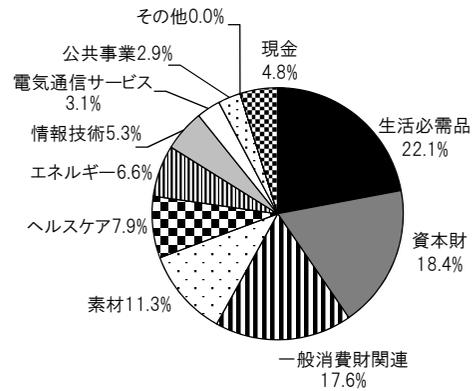
投資市場別構成比率(2016年9月末現在)



投資対象国・地域別構成比率(2016年9月末現在)



セクター別構成比率(2016年9月末現在)



組入上位5銘柄(2016年9月末現在)

銘柄名	投資対象国・地域	業種	構成比
ベトナムデ일리	ベトナム	生活必需品	5.3%
プリティッシュ・アメリカン・タバコ・バングラデシュ	バングラデシュ	生活必需品	4.4%
チャイナ・コミュニケーションズ・コンストラクション	香港	資本財	3.3%
ジョン・キールズ	スリランカ	資本財	3.3%
リンデ バングラデシュ	バングラデシュ	素材	3.1%

(注1) 「投資対象国・地域」は、実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

(注2) 当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(注3) ハーベストAFエクイティファンドのデータにつきましては、ハーベスト グローバル インベストメント リミテッドのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成しております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年10月27日～2016年10月25日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

分配金

(2015年10月27日～2016年10月25日)

当期は、当ファンドの分配方針に基づき、収益分配可能額(配当等収益額から経費等を控除)を算出し、基準価額の水準などを考慮した結果、1 万口当たり 300 円(税込み)の収益分配を行うことといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1 万口当たり、税込み)

項 目	第 5 期
	2015 年 10 月 27 日～ 2016 年 10 月 25 日
当期分配金 (対基準価額比率)	300 2.727%
当期の収益	—
当期の収益以外	300
翌期繰越分配対象額	699

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

当初の運用方針通り、ハーベストAFエクイティファンドの投資を通じ、信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。

<ハーベストAFエクイティファンド>

※以下の内容は、ハーベストAFエクイティファンドのファンド・マネジャー(ハーベスト グローバル インベストメント リミテッド)のコメントをSBIアセットマネジメント株式会社が和訳・編集したものです。

アジア・フロンティア株式市場の長期的な見通しについて、我々は引き続き自信を持っています。しかし、年初からマクロ経済や地政学的なリスクが投資家心理に悪影響を及ぼしているため、株式市場が抱える潜在的なリスクも認識しています。それでもなお、中国のマクロ経済指標が徐々に回復していることから、新興国市場の最悪期は既に脱した可能性があり、米国の利上げも予想より緩やかなものになっています。とは言え、先行きは困難な状況が待ち構えており、特に株式市場は英国の EU 離脱やトランプ氏が米大統領になるという新たな現実と直面しています。政治に関する先行き不透明感は引き続き先進国市場の重しとなっていることから、新興国市場やフロンティア市場の収益率は先進国市場の収益率を上回ると見えています。

アジア・フロンティア株式市場は外国人投資家には十分認知されていない状況が続いています。アジア・フロンティア諸国の GDP 成長率は、今後数年間にわたって先進国市場の GDP 成長率を上回り、株式市場のパフォーマンスにも反映されるでしょう。また、アジア・フロンティア諸国の経済開発は、中国の一带一路政策などインフラ投資の増加により押し上げられるでしょう。先進国が国内政治の変化に苦しむ中、中国は直接投資を通じて自国の影響が及ぶ範囲をフロンティア諸国に拡大させると考えます。こうした中国の直接投資は、外国直接投資を大いに必要としている国々に恩恵をもたらすでしょう。一带一路政策は、2016 年年初のアジアインフラ投資銀行の公式開業以降、少しずつ実行され始めています。一連の投資活動や投資プロジェクトとしては、ロシアと北京を結び、将来的にはカザフスタンとユーラシア鉄道まで繋げる 210 億ドル相当の鉄道建設プロジェクトなどが確認されています。南アジア地域では、推定 460 億ドル相当のプロジェクトが中国・パキスタン経済回廊の建設計画に伴って始動しています。また、政府支援や金融支援を受けた中国企業は、インドネシアやマレーシアのインフラ開発プロジェクトの参画に向けて、これらの国々に進出しています。

米国のトランプ政権下では環太平洋パートナーシップ協定の批准は実現しないかもしれませんが、製造業の新たな中核拠点として、中国に取って代わろうとするベトナムの国際競争力を阻害するようなことにはならないでしょう。過去数年間ベトナムは経済を外資に開放するなど大幅な改革を実行しており、国営企業の民営化も進捗しています。バングラデシュやスリランカも徐々に変化を遂げ、輸出産業をさらに拡大しようとしています。グローバル経済が底打ちし、財政刺激策が世界的に実施されるとの期待が高まるにつれて、商品市況の見通しは魅力的なものになってきています。したがって、我々はカザフスタンへの投資を行うことにより、商品関連銘柄の組入れを再開しています。

お知らせ

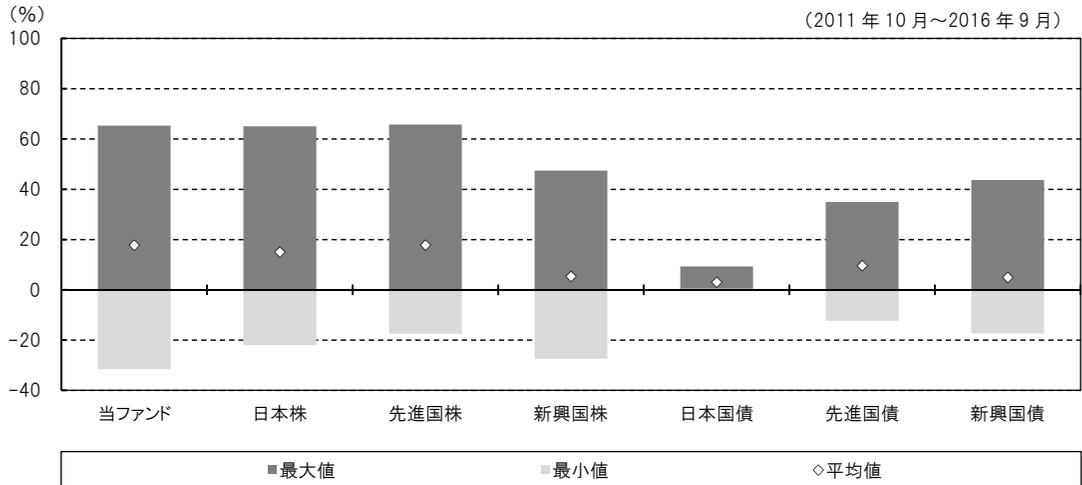
- ・ 該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2011年10月28日設定)
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。
主要投資対象	主として、外国投資信託「ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ」受益証券と「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」受益権を主要投資対象とします。
運用方法	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。ただし、本ファンドが投資対象とする外国投資信託証券においてデリバティブを利用する場合があります。 ⑤投資信託証券、短期有価証券および短期金融商品等(短期投資を目的とする公社債等の有価証券を含みます。)以外への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則10月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日)に繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とし、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	65.3	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△31.6	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	0.5	△ 12.3	△ 17.4
平均値	17.8	15.0	17.8	5.3	3.0	9.6	4.9

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2011年10月から2016年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2011年10月28日(設定日)から2016年9月30日のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株:MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債:NOMURA-BPI 国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債:JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数についての詳細は、最終ページをご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年10月25日現在)

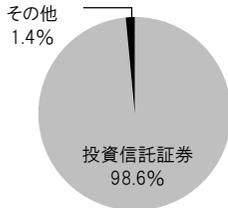
○組入上位ファンド

銘柄名	第5期末
ハーベスト・アジアフロンティア エクィティファンド クラスJ	98.5 %
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

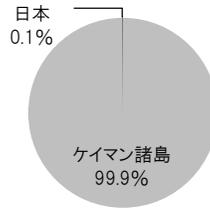
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

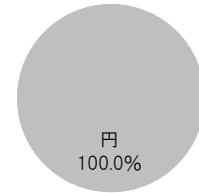
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

(注3) 国別配分は発行国を表示しております。

(注4) 通貨別配分は組入投資信託証券の株式評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第5期末
	2016年10月25日
純資産総額	1,506,485,720 円
受益権総口数	1,407,989,693 口
1万口当たり基準価額	10,700 円

(注) 期中における追加設定元本額は355,784,600円、同解約元本額は295,199,980円です。

組入上位ファンドの概要

ハーベスト・アジア フロンティア エクイティファンド クラスJ

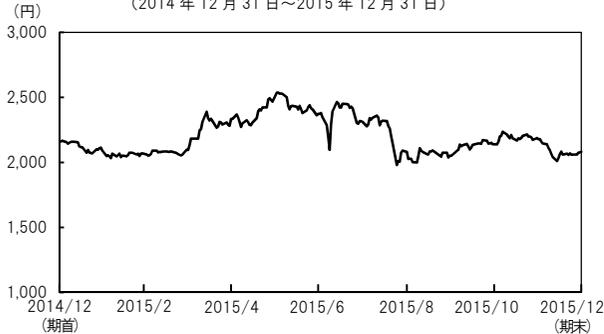
作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【1口当たり純資産価格の推移】

(2014年12月31日～2015年12月31日)

【1万口当たりの費用明細】

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。



- (注1) 設定日の1口当たり純資産価格は、1,000円です。
- (注2) 報酬(固定報酬・成功報酬)控除後の数値です。
- (注3) グラフは、BNPパリバ セキュリティーズ・サービスが算出した数値に基づいています。
- (注4) 上記純資産価格は、「ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド」の翌営業日の基準価額に反映されます。

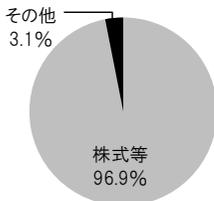
【組入上位 10 銘柄】

(2015年12月31日現在)

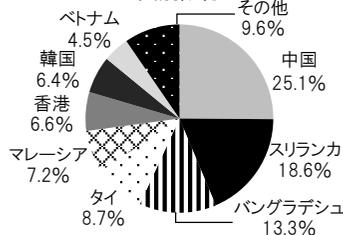
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率(%)
1	LION BREWERY CEYLON PLC	生活必需品	スリランカ・ルピー	スリランカ	5.82
2	CENTURY SAGE SCIENTIFIC HOLDINGS LTD	一般消費財関連	香港ドル	中国	5.67
3	BRITISH AMERICAN TOBACCO BANGLADESH CO LTD	生活必需品	バングラデシュ・タカ	バングラデシュ	5.04
4	AIRPORTS OF THAILAND PCL	資本財	タイ・バーツ	タイ	4.26
5	SHANGHAI JIN JIANG INTERNATIONAL HOTELS GROUP CO LTD	一般消費財関連	香港ドル	中国	3.68
6	TENCENT HOLDINGS LTD	情報技術	香港ドル	中国	3.46
7	JOHN KEELLS HOLDINGS PLC	資本財	スリランカ・ルピー	スリランカ	3.27
8	SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP HOLDINGS LTD	一般消費財関連	香港ドル	中国	3.02
9	CHEVRON LUBRICANTS LANKA PLC	エネルギー	スリランカ・ルピー	スリランカ	2.83
10	MINOR INTERNATIONAL PCL	一般消費財関連	タイ・バーツ	タイ	2.81
組入銘柄数		43 銘柄			

- (注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。
- (注2) 国(地域)は実際の上場取引所の国々とは必ずしも一致しません。

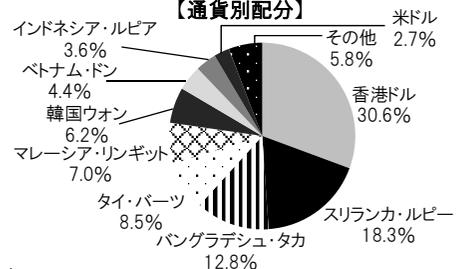
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



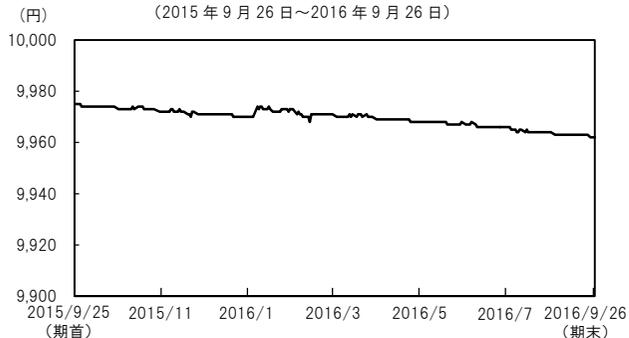
- (注1) 組入銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、2015年12月31日現在のものです。
- (注2) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分の比率は投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

【基準価額の推移】

(2015年9月26日～2016年9月26日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年9月26日～2016年9月26日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	14 (11) (1) (2)	0.141 (0.108) (0.011) (0.022)
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	1 (0) (0)	0.005 (0.002) (0.004)
合計	15	0.146

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2016年9月26日現在)

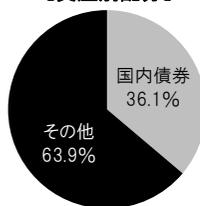
銘柄名	国/地域	比率(%)
1 第869回政府保証公営企業債券	日本	7.9
2 第19回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	日本	6.2
3 第871回政府保証公営企業債券	日本	5.6
4 第3回政府保証西日本高速道路債券	日本	3.1
5 第6回政府保証東日本高速道路債券	日本	2.7
6 第310回中国電力株式会社社債	日本	1.3
7 第306回中国電力株式会社社債	日本	1.3
8 第8回政府保証西日本高速道路債券	日本	1.3
9 平成18年度第6回静岡県公募債	日本	1.3
10 第10回政府保証中日本高速道路債券	日本	1.3
組入銘柄数	13 銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

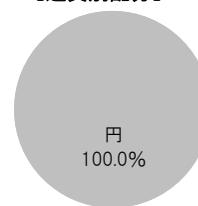
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2016 年 9 月 26 日現在のものです。

(注2) 1 万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数の著作権等＞

代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、SBIアセットマネジメントはその内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI inc.が開発した、世界の新興国の株式対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P.Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLC に帰属します。